

<学校名> 三郷市立彦糸小学校
<所在地> 三郷市彦成3-10-23
<電話> 048-957-0201

<本事例の特徴>

本校は、本年度北郷小学校との統合に伴い、日本語指導教室を新設した。現在、8か国の児童が22名在籍しており、その中には、第三国定住支援事業としてミャンマーから編入してきた5名も含まれている。保護者は、就労または大学院で学ぶためと様々である。

外国籍の児童と保護者は国際理解教育を行う上でとてもよい協力者である。以下、本校の国際理解教育の取組について紹介する。

<具体的な取組や成果>

○総合的な学習の時間の「国際理解教育」～保護者による文化紹介

- ・外国籍の保護者を招き、各国の食べ物や文化、生活用品等について紹介した。



○全校集会の「国際理解教育」

～児童・保護者による文化紹介及び児童との交流

- ・各国の国旗や1～10までの数の数え方、歌等について紹介した。

○児童の感想より（一部）

世界にはいろいろな言葉があるのが分かり、その国に行ってみたくなった。外国のことが分かり、うれしかった。

言葉は分からなかったけれど、外国から来た人は日本語が分からないのに毎日がんばっていることが分かり、はじめて外国の人の気持ちが分かった。自分達は、外国の人のことが分かるいい環境の中にいるのだということに気が付いた。

歌詞は分からなかったけれど、不思議な気持ちの歌だった。ちがう国の人ともなかよくしていきたいと思った。

○国旗や1～10までの数の数え方、キラキラ星の歌等の紹介により、児童達は、それぞれの国の文化や言語等が違うことを感じ取ることができた。

○交流を通して、お互いに異文化のよい点を認め、理解し合えるようになり、思いやりの心を醸成できた。また、保護者同士の交流も深めることができた。

○保護者による文化の紹介



パキスタンで使われているバッグです

○日本語指導教室（第三国定住支援の児童）



ミャンマーの服を着て踊ります

一字一字ていねいにきれいに書いています

○保護者との交流



学習支援の仕方について話し合いました

スリランカの学校について話していただきました



○各国の紹介や本校児童との交流



バングラディシュの国旗



ベトナムの国旗



スーダンの国旗



エジプトの数の数え方



ウルドゥ語でバングラディシュの歌

シンハラ語でキラキラ星の歌

○運動会への保護者の参加と子供たちの日本伝統の踊り



P T A 種目の綱引きに参加



花笠音頭を一緒に踊る

